

## キリンビバレッジ 2018年7月販売概況レポート

### 1. キリンビバレッジ社

カテゴリ	前年比
清涼飲料合計	105%

- ・清涼飲料市場全体は単月前年比 105%となった。
- ・当社は単月前年比 105%で着地。
- ・生茶は、小型と大型ペットボトルがいずれも対前年二桁増で好調に推移し、単月前年比 112%
- ・午後の紅茶は、主力3品（ストレート、ミルク、レモン）の 500ml ペットボトルが好調に推移しているものの、エクステンション品や、自販機の販売構成比が高い 280ml ペットボトルのマイナス分が影響し、単月前年比 95%
- ・ファイアは、CVS チャンネルが前年を上回ったものの、主に自販機チャンネルのマイナスにより単月前年比 84%
- ・健康・スポーツ飲料は、猛暑の影響により「ラブズスポーツ」などが牽引し、単月前年比 119%
- ・炭酸飲料は、「キリンレモン」が好調に推移するも「メッツ」のマイナス分が影響し、単月前年比 95%
- ・ミネラルウォーターは、猛暑と西日本豪雨の影響で中四国を中心に出荷が増え、単月前年比 115%
- ・トロピカーナは、昨年7月に発売した季節限定商品の裏返しの影響により、単月前年比 98%

以上